

## 開花しだした桜が出迎え 水城公園桜ボンボリまつり

4月3日、水城公園桜ボンボリまつりが開催され、つぼみからようやく花開きだした桜が多くの来場者を迎えました。

会場となった水城公園市民広場は、フリーマーケットで掘り出し物を探す親子連れや、わなげに挑戦する子供たち、行田大茶会で列を作ってお茶の振る舞いを受ける人々などでにぎわいました。



## 市民公益活動団体が活動をPR

3月27日、市民公益活動情報コーナーが設けられているコミュニティセンターみずしろで市民公益活動フォーラムが開催されました。

第1部では、ものづくり大学まちづくり研究室の教授と学生による市民活動に関する研究成果発表が行われました。また、第2部では市内で活動する18のNPOやボランティア団体が、自分たちの日ごろの活動をPRするとともに、あらゆる分野で活動する各団体同士の情報交換が行われました。

## ささら獅子舞も登場 行田春まつり

4月17日、春の風物詩である行田春まつりが、市役所前から水城公園までの公園通りで開催されました。この日は好天に恵まれ、また、土曜日ということもあって例年以上の人出でにぎわいました。

コミュニティセンターみずしろ前では、新・行田音頭や片原の手おどりの実演のほか、下中条獅子舞保存会による「橋」の演舞が行われ、臆病でなかなか橋を渡れない獅子のユーモラスな動きに会場から笑いと歓声がわき起こっていました。



## 童銅人形の誕生を祝う子どもの祭り

平成10年3月、市中心部の電線等地下化事業に伴い誕生した39体の童銅人形。これらの誕生日を祝って、3月28日、秩父鉄道行田市駅前通りを会場に、市制施行60周年市民提案記念事業「わらべ春まつり」が開催されました。

歩行者天国となった会場では、金魚すくいや射的、ミニSLなど、子供たちが楽しめる催し物が盛りだくさん。また、白塗りの化粧をし、華やかな衣装に身を包んだ子供たちが行田八幡神社から行田市駅前までを練り歩く稚児行列が行われ、子どもが主役の祭りに花を添えました。